

毎年ふくろうの杜では家族会様主体で納涼祭を開いていましたが、コロナ感染症流行以降、人々の接触を避けて取りやめていました。ようやく昨年、最低限の接触でできる花火大会を開催しました。間近で迫力のある花火が観られて良かったという昨年の声から、今年も少し暑さが和らぐ九月十三日に花火大会が開かれることになりました。花火は小規模ですが打ち上げ花火と地元の恵奈手筒会様による手筒花火が計画されています。ご入居の方々には慣れ親しんだ地域の花火大会に赴くことは、ご家族の協力があつたとしても暑さや人混みの中では難しいですが、小規模ながらも施設にて親しい家族様と楽しんでいただければ幸いです。予算です。お天気は運頼みといったところですが、すでに関係する企業様や退居された方のご家族様の中には協賛金をお届けくださった方もあり、大変感謝しております。

今年ふくろうの杜がこの苗木の地に開設して二十周年となりました。中津川に住む高齢者の方が安心してこの地で暮らし続けられるように、また職員がよりよい介護を目指してやりがいをもつて働き続けられるように、これからも当法人が地域の皆様のご理解とご協力を得ながら、社会福祉事業を進めて参りたいと思います。



ぼた餅会をしました！

六月、三日間に分けて各お住まいでぼた餅会を行いました。炊いた餅米を半搗きにして丸め、あんこを付けたたり、きな粉やゴマをまぶしたりと各々役割を分担し、入居者様参加型のおやつ会ができました。食べるだけではなく、自分達で作る事でおやつ時間がいつもと違った満足感を得ることができました。

これから感染対策に気を付けながら、普段の暮らしに楽しみを感ぜたいだけのこと考えていきま



ご寄付を有難うございます

物故者 ご遺族様 二名
施設運営などに有意義に使わせて頂きます。
こころより感謝申し上げます。

水分補給をしっかりと！！



七月吉日 S・N

毎回、表紙を飾る「輝く笑顔」の写真は、令和元年の九月号から掲載されてきました。お一人お一人の年輪を重ねた穏やかで優しい微笑や静かなまなざしの表情は、日々忙しさに追われていく心をほっこりとさせてくれます。

『杜の便り』は、上田雅和前理事長の「地域に根付いた寄り添う介護をしたい」という思いから地域のひととの交流やボランティア参加への呼びかけとして、開設から半年後の平成十八年二月に創刊されました。マスコットキャラクターのこぶ次郎は創刊号から登場しています。二十周年を迎えて、さらに多くの方に身近に感じて頂ける紙面づくりを心掛けてまいります。梅雨が明け、今夏も観測史上最高の気温が続くという予報が出てます。熱中症などにならないようご自愛ください。

おかげさまで開設20周年！

2025年7月1日、当法人の介護老人福祉施設が開設20周年を迎えました。今年の5月には、4年ぶりに入居者家族会総会を開催し、家族様同士やスタッフが顔をあわせて、施設でのケアの方針などを理解いただく機会を持つことができました。来る9月13日には、入居者様、利用者様、家族様、家族OB会の皆様、地域の皆様、今までふくろうの杜に関わってくださったすべての皆様に感謝の気持ちを伝える花火大会を開催予定です。お楽しみに！



特養の日常

”今日一日が幸せでありますように”



「癒しの薔薇園」
に行ってきました！！
他のお住まいの方と過ごす
癒しの時間～～～

デイサービス南館



施設周りの植栽の中に低木ながら梅の木があります。今年、東海地方が梅雨入りした6月半ば、その木に大きな梅が実っているのを見つけたデイ職員が、施設の許可を得て利用者様と収穫しました。その梅の実を洗浄後、氷砂糖と一緒に漬け込んで梅シロップを作ることになりました。利用者の皆さんも「あんな小さな木にこんなに実ったの？」と驚かれて、まだ虫の害も無いきれいな実を手にとって慈しむように眺めておられました。

漬け込み後は、中身をかき混ぜるために毎日、利用者様に交代で瓶を回転していただいています。これからの夏の暑い時期だからこそ楽しめる事を企画していきたいと思います。



キッズルーム

てるてる坊主を作ったよ



今年の梅雨は雨が降らない日が続きましたが、キッズルームではてるてる坊主を制作し、梅雨の季節を楽しみました。

くしゃくしゃに丸めたティッシュペーパーを袋に入れ、シールで飾りつけをして完成！！出来上がると「わあ！！」と歓声を上げ、嬉しそうな子ども達です。玄関を開けると、かわいいてるてる坊主達が出迎えてくれますよ。

